

転学部(科)届

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

届出年月日	西暦 20 年 月 日
-------	-------------

下記のとおり転学部(科)しましたので、引き続き奨学金貸与の継続をお願いします。
また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。
なお、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)を確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

奨学生番号	0
-------	---

※併用貸与の場合は第一種・第二種それぞれの奨学生番号ごとに提出が必要

学校名	
-----	--

生年月日	西暦 年 月 日	年齢	満	歳
フリガナ				
氏名(自署)	印 (原則不要)			

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借用金額」を訂正する場合のみ必要です。

■新旧学籍情報→学籍の実態に合わせて記入(変更の承認日ではありません)

	学部・学科・コース名	全定通	学籍番号	修業年限	卒業予定期(西暦)	転学部(科)年月日	学年	学校記入	
								区分	学部学科コード
旧		<input type="checkbox"/> 昼間 <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 通信		年 20	年 月 20	年 月 日	まで在籍	年次	
新		<input type="checkbox"/> 昼間 <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 通信		年 20	年 月 20	年 月 日	から在籍	年次	
学校記入(給付奨学金及び授業料等減免と併給する第一種奨学金のみ)									
<input type="checkbox"/> 転学部(科)により私立理工農系学部(学科)への該当⇄非該当に変更が生じる場合は✓		機構使用欄:		始期					

■変更後の借用金額 → 貸与期間の延長や増額の願出により、借用金額が増加する場合のみ記入

変更後の借用金額(予定・総額)	
-----------------	--

※給付奨学金又は授業料等減免の支援を受けており、第一種奨学金が併給調整中の場合、変更後の借用金額欄は記入不要です。
※本願出に記載された変更後の借用金額が予定する借用金額を上回っている場合は、貸与月額及び貸与終期から算出される借用金額を正しい金額として取扱います。

■保証制度 → 該当する保証制度を選択してください。※「変更後の借用金額」欄の記入を要しない場合は人的保証であっても記入不要

※機関保証加入者は、月額変更・貸与期間の変更に伴い保証料月額が変更となります。

□	人的保証(右欄を記入)	※印鑑登録証明書を添付 機構届出の 連帯保証人 住所 〒 電話番号 生年月日 年 月 日 氏名(自署) 実印
□	人的保証(右欄を記入)	機構届出の 保証人 〒 住所 〒 電話番号 生年月日 年 月 日 氏名(自署) 実印
□ 機関保証		今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととさせていただきます。

■親権者又は未成年後見人 → 本人が未成年者の場合のみ記入

・上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

(親権者又は未成年後見人)住所・氏名(自署)		(親権者)住所・氏名(自署)	
TEL:		TEL:	

親権者又は未成年後見人による二名の自署が必要です。親権者とは民法に定める親権者のことで、通常は両親です。いづれかいない場合は一名が記入し、余白に不在の旨を記入してください。奨学金申込時の親権者又は未成年後見人から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

-----【学校の証明】上記記載のとおり相違ないことを証明します。-----

証明日	20 年 月 日	返還誓約書 機構提出済 (✓を記入)	電話番号(担当者名)	
学校名	大阪大学		06 - 6850 - 5037	()
証明者(※)	教育・学生支援部 学生・キャリア支援課長 中川 優	□ 済	学校番号・校区区分	106005 - 0160

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

※記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

記入例（貸与/転学部(科)）

提出前に記入欄れや誤記入がないかの確認のうえ、記入欄は速やかに蓋印してください。
 ※本人署名欄および人的保証記入欄以外は学校で記入または印字しても構いません。

③学校名

・正確に記入してください。

⑦変更後の借入金額（予定・総額）

- ・以下に該当する場合は原則、「変更後の借入金額」を記入してください。
- ・貸与最終期が延長となる場合
- ・同時に貸与月額が増額をする場合

(例) 本事例では貸与月額5万円の奨学生が転学部(科)先で新年度からも3年次に在籍することにより、貸与期間が1年延長する場合は想定しています。

- ・当初予定していた貸与期間 →2023/4～2022/3
- ・転学部(科)による新貸与期間 →2023/4～2028/3

⑧保証制度・人的保証記入欄

- ・選択している保証制度に✓を記入してください。
- ・人的保証制度で「変更後の借入金額」が増額となる(⑦の記入を要する)場合、「連帯保証人・保証人の自署・実印及び印鑑登録証明書の添付」が必要です。

※連帯保証人・保証人を逆に入力した場合は新しい様式への書き直しとなります。添付する印鑑登録証明書と内容の相違なく記入してください。

【様式22】

転学部(科)届

貸与

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり転学
 また、卒業期が延びます。
 ※本人署名欄および人的保証記入欄以外は学校で記入または印字しても構いません。

②奨学生番号
 ・11桁で正確に記入してください。

日本学生支援機構奨学金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。
 ※加入して、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関して、確認書並びに返還誓約書に記すに従うことを誓約します。

届出年月日 西暦 20 26 年 4 月 6 日

奨学生番号 8 2 X 0 4 X X X X X X

※併用貸与の場合は第一種・第二種それぞれの奨学生番号ごとに提出が必要

生年月日 西暦 2004 年 9 月 13 日 年齢 満 21 歳

フリガナ イクエイ ハナコ

氏名(自署) 育英 花子

印 (原則不要)

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借入金額」を訂正する場合のみ必要です。

■新旧学籍情報→学籍の実態に合わせて記入(変更の承認日ではありません)

	学部・学科・コース名	全定通	学籍番号	修業年限	卒業予定期(西暦)	転学部(科)年月日	学年	学校記入	
								区分	学部学科コード
旧	看護学部看護学科	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間 <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 通信	20230000	4年	2027年3月	2026年3月31日	3	01	8006
新	薬学部薬学科	<input checked="" type="checkbox"/> 昼間 <input type="checkbox"/> 夜間 <input type="checkbox"/> 通信	20269999	4年	2028年3月	2026年4月1日	3	01	8001

学校記入(給付奨学金及び授業料等減免と併給する第一種奨学金のみ)
 転学部(科)により私立理工農京学部(学科)への該当⇄非該当に変更が生じる場合は✓

機構使用欄

始期

■変更後の借入金額 → 貸与期間の延長や増額の届出により、借入金額が増加する場合のみ記入

変更後の借入金額(予定・総額) _____ 円

※給付奨学金又は授業料等減免の支援を受けており、第一種奨学金が併給調整の場合、変更後の借入金額は記入不要です。
 ※本欄上に記載された変更後の借入金額が予定する借入金額を上回っている場合は、貸与月額及び貸与最終期から算出される借入金額を正しい金額として取扱います。

■保証制度 → 該当する保証制度を選択してください。※「変更後の借入金額」欄の記入を要しない場合は人的保証であっても記入不要

※機関保証加入者は、月額変更・貸与期間の変更に伴い保証料月額が変更となります。
 ※私は、上記の貸与期間(終期)の延長等により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべく返還未済額の2分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等に記したとおり債務履行の責を負います。

連帯保証人
 〒162-8412 住所 東京都新宿区市谷本村町10-7 氏名(自署) 育英 志雄
 電話番号 080-XXXX-0000 生年月日 昭44 年 2 月 2 日

機関保証
 〒153-8503 住所 東京都目黒区駒場4-5-29 氏名(自署) 育英 睦子
 電話番号 090-XXXX-9999 生年月日 昭和46 年 4 月 26 日

■親権者又は未成年後見人 → 本人が未成年者の場合のみ記入

・上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は未成年後見人住所・氏名(自署) TEL: _____

親権者住所・氏名(自署) TEL: _____

親権者又は未成年後見人による二名の自署が必要です。親権者とは民法に定める親権者のことで、通常は両親です。いずれがない場合は一名が記入し、余白に不在の旨を記入してください。奨学金申請時の親権者又は未成年後見人から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

【学校の証明】上記記載のとおり相違ないことを証明します。

証明日 20 26 年 4 月 7 日

返還誓約書 機構提出済 (✓を記入)

電話番号(担当者名) 03 - XXXX - XXXX ()

学校名 学生支援大学

証明者(※) 機構 正雄

学校番号・校舎区分 3XXXXX - 00

※証明者は責任相当者以上の方としてください。
 ※この証明は、奨学金の返還状況に関する情報を含むが、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機関保証加入者の個人情報を必要に応じて保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

①届出年月日

・奨学生が学校へ届け出た日付を記入してください。

④生年月日・年齢・氏名(自署)

・氏名は必ず奨学生ご自身で記入してください。
 ・本人印は⑦の訂正を行う場合以外は不要です。

⑤旧学籍情報(上段)

・もともと在籍していた学部、学科、コース等の名称を記入してください。
 ・該当する全定通区分(昼間、夜間、通信)を選択してください。昼夜開講は昼間と扱います。
 ・学籍番号、標準修業年限(何年制)、卒業予定期を記入してください。
 ・在籍していた課程における最終在籍年月日及びその時点での学年を記入してください。

⑥新学籍情報(下段)

・新たに在籍する学部、学科、コース等の名称を記入してください。
 ・該当する全定通区分(昼間、夜間、通信)を選択してください。昼夜開講は昼間と扱います。
 ・学籍番号、標準修業年限(何年制)、卒業予定期を記入してください。
 ・新たに在籍する課程における在籍開始年月日及びその時点からの学年を記入してください。

⑨親権者又は未成年後見人

・届出時点で未成年(18歳未満)の場合のみ記入

赤枠内は学校の記入・証明欄のため、本人記入は不要です。

「変更後の借入金額」の考え方
(貸与中)

スカラネットPS 奨学金貸与・給付・返還情報提供サービス

全体概要 **詳細情報** 各種手続 奨学金経歴照提出 在籍報告 個人情報

本画面に表示されている情報は、2026年4月12日現在のものです。

奨学生番号ごとの詳細情報

奨学生番号ボタンを押すと、各番号ごとの詳細情報を表示します。

5**0*****	奨学金情報	
6**0*****	奨学生番号	8**0*****
8**0*****	状態	貸与
	学校名	〇〇大学
	貸与期間	2023年04月～2027年3月
	貸与月額	120,000円
	貸与済額(入学時特別増額貸与奨学金)	500,000円
	貸与済額(第二種奨学金)	3,580,000円
	貸与総額(予定)	① 4,900,000円 + ② 1,440,000円
	利率算定方式	利率固定方式

変更後の借入金額
①+②= 6,340,000円

貸与明細

それぞれの期間中の月額や状態(休止または停止)を、奨学金の貸与が終わるまでの予定を含めて表示します。

A: いつから	B: いつまで	期間中(AからB)の貸与月額または状態	貸与月数
2023年04月	①合計	500,000円 ×	1か月
2023年04月	2023年12月	120,000円 ×	9か月
2024年01月	2025年10月	60,000円 ×	22か月
2025年11月	2025年12月	100,000円 ×	2か月
2026年01月	2027年03月	120,000円 × (現在の貸与月額)	15か月

※予定も含めて表示しておりますので、状況に応じて内容は変化します。

②転学部(科)で延びる卒業予定期までの期間の額

2027年04月～2028年03月
120,000円 × 12か月 = 1,440,000円
(現在の貸与月額)

(※)貸与奨学金月額変更願を同時に提出する場合の考え方

最後の行を変更始期の前後に分割して考えます。

(例)2026年04月の転学部(科)と同時に10万円への減額を申請する場合

2026年01月	2026年03月	120,000円 (現在の貸与月額)	3か月
2026年04月	2027年03月	100,000円	12か月

①貸与総額(予定)を「4,660,000円」として考えます。

入口座)

〇〇銀行

*****_***

キコウ タロウ

卒業予定期が延びる場合の「変更後の借入金額」の考え方

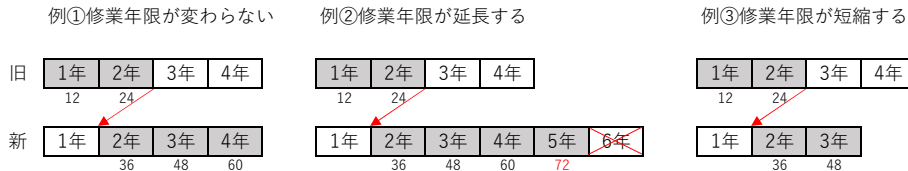
- ①現在の「貸与総額(予定)」を確認する。(※)
- ②転学部(科)で卒業延期する期間の借入金額を計算する。
- ③①と②の合計金額を「変更後の借入金額」欄に記入する。

転学・転学部（科）後の奨学金の継続可能期間

■給付奨学金・・・転学・転学部（科）後に在籍する課程の卒業予定期まで

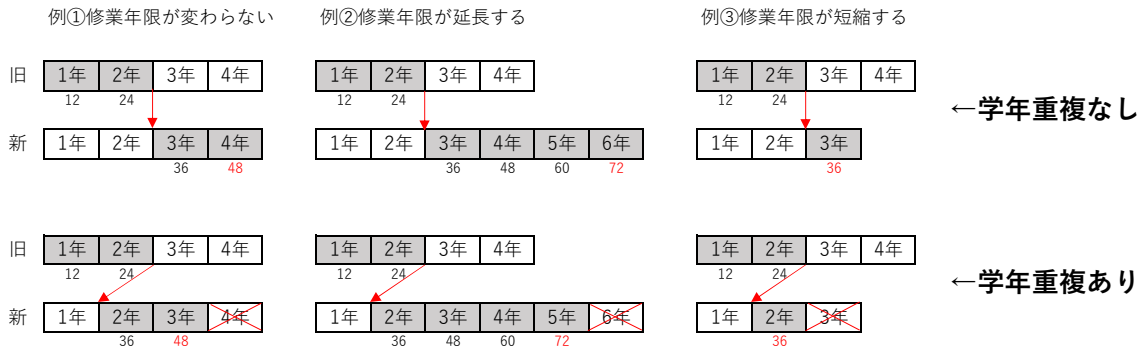
※ただし、転学・転学部（科）前の給付期間と通算して72か月まで

※カリキュラム都合でやむを得ない場合を除き、学年重複は認められません

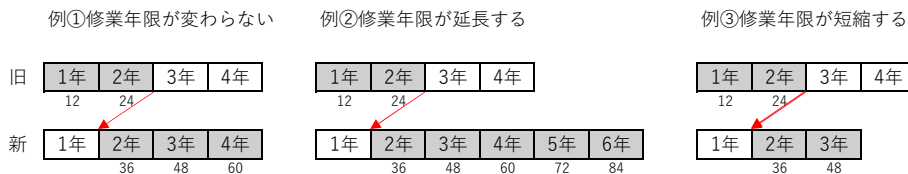


■第一種奨学金・・・通算で転学・転学部（科）後に在籍する課程の修業年限まで

※学年重複が生じる場合は卒業予定期より前に満期終了となる



■第二種奨学金・・・転学・転学部（科）後に在籍する課程の卒業予定期まで



●「旧」は転学・転学部（科）前の旧在籍課程を、「新」は転学・転学部（科）後の新在籍課程を示します。

●学年の下の数字は月数（1年＝12か月）を示し、赤字は給付及び貸与可能な月数の上限を示します。

【注意】

- ・転学・転学部（科）により通算の貸与期間が延長する場合、様式中の「変更後の借用金額」を記入する必要があります。
- ・継続可能期間はあくまでも転学・転学部（科）時点のものであり、その後の休停止により変動する場合があります。
- ・学年進行型の学校では「卒業予定期まで」を「修業年限分まで」に読み替え、最終学年での満期終了にご注意ください。

【参考】「変更・訂正後の借用金額(予定)」「連帯保証人・保証人」欄の訂正方法等について

願(届)出用紙の訂正は、なぞり書きや修正テープ等での訂正はできません。
署名訂正や押印についても、下記を確認し、適切に訂正してください。

■『変更・訂正後の借用金額(予定)』欄の訂正方法について

- ①本人署名横に本人印を押印する
- ②借用金額全体を二重線で削除する
- ③訂正した二重線上に訂正印を押印する(訂正箇所ごとに各押印が必要)
 - ・人的保証の場合：本人印(本人氏名横同一印)・連帯保証人と保証人の実印
 - ・機関保証の場合：本人印(本人氏名横同一印)
- ④正しい金額(ゼロも含めた全ての桁)を上部余白に記入する

【訂正方法】変更後の借用金額(予定)を誤った場合について

①誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

②二重線の上に、訂正印を押印してください。
人的保証の方の場合、本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。
機関保証の方は本人印のみ。

豆印不可
押印の並びは不問

③正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

■『連帯保証人・保証人』欄の訂正方法について

〈例〉署名を訂正する場合

- ①氏名全体に二重線を引く
- ②署名を訂正する者の実印を、
二重線上に他の印と重ねないように押印
- ③欄内余白に、文字が重ならないよう正しく署名する

署名を訂正する場合は、実印を押印し欄内に正しく署名

※欄内の住所、電話番号、生年月日についても同様の方法で訂正が必要です。

※奨学生本人の自署欄は訂正印不要です。

■正しい『押印』の例

重印・二重印・欠け印・にじみ印とならないよう、朱肉を用いて鮮明に押印してください。

鮮明	薄い	重ね印	二重印	欠け印	滲み印
○	×	×	×	×	×

本人印は、朱肉を用いて押印※豆印不可

連帯保証人や保証人は、実印での押印のみ

※印鑑登録証明書に押印されている印